



クオリティインディケーター(QI)成果報告 〔麻酔科〕

指標名

麻酔科管理手術症例における麻酔科術前外来受診率

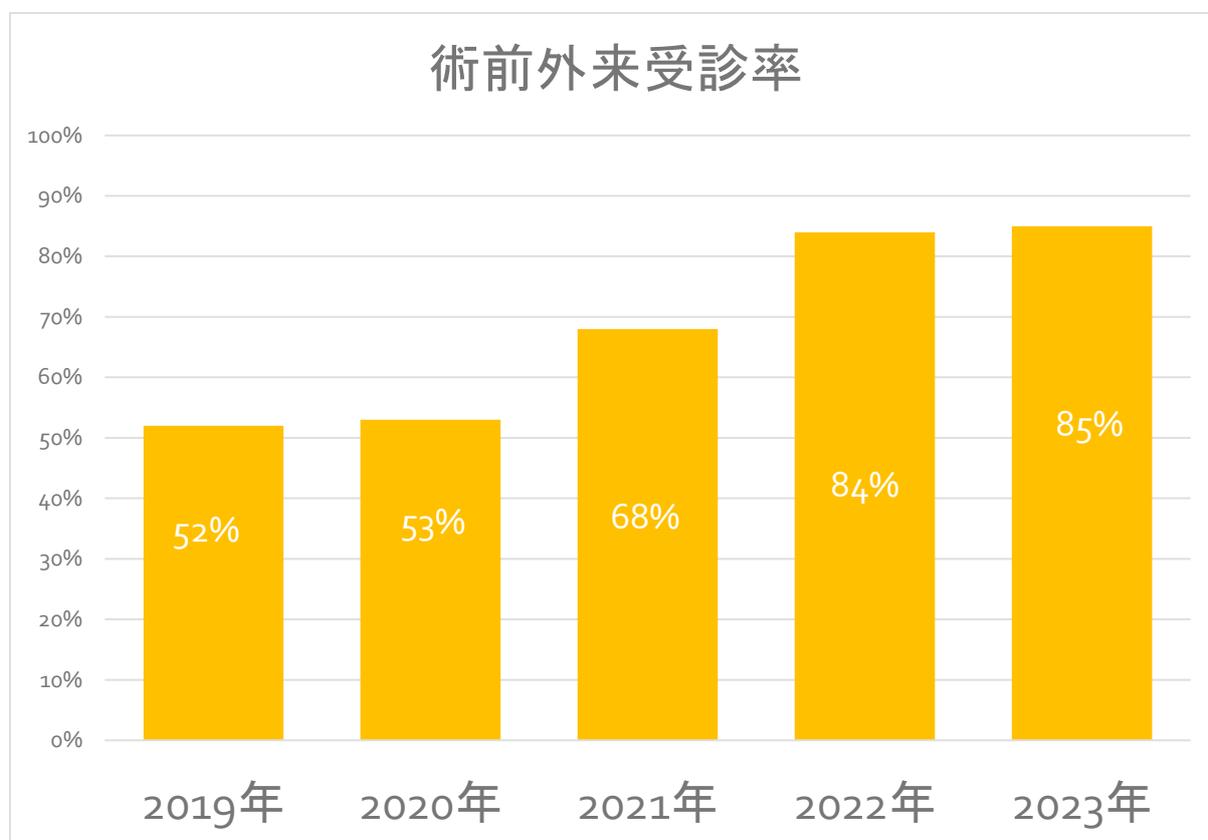
目標・ゴール

麻酔科が管理する手術患者の術前外来受診率 90%を目指す。

目標・ゴール達成による効果

多職種（医師・看護師・薬剤師）による患者情報の共有を強化し、より安全で効率的な周術期管理を行う。

目標・ゴールに対する成果の状況



目標・ゴール達成度

※該当項目に☑をつけてください

- S :大幅に目標を上回った
- A⁺:目標を多少上回って達成
- A :目標を達成
- B⁺:目標を少し下回った
- B :目標を下回った
- C :目標を大幅に下回った
- :外的要因により継続困難となった。

目標・ゴールの課題・改善策

2023年度は麻酔科術前外来受診率が84%から85%に微増したが、目標の90%は達成できなかった。

昨年度、68%から84%に大幅に増加したことが、今年度の微増という結果に影響したと考えられるが、引き続き高い水準を保っていた。麻酔科が管理する手術数が6955件から7092件に増加したため、術前外来受診者の総数は110件の増加となった。

術前外来で医師、看護師、薬剤師が同時に情報を共有することでより安全に、効率良く周術期業務を行えることが期待できる。麻酔科管理の手術症例には一定の割合で緊急手術が含まれ、緊急症例は術前外来を受診しないことから、受診率の今以上の大幅な上昇は期待出来ないが、今年度も引き続き目標値を90%として、さらなる受診率の増加を目指す。